

## 新年のご挨拶



理事長 相原 康伸

明けましておめでとうございます。

公益社団法人教育文化協会（ILEC）に対するご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げますとともに、本年が皆さま方にとって輝かしい1年となりますよう、祈念致します。

21世紀に入ってから四半世紀が経過し、日本社会が直面する課題も一層多様化・複雑化する中で、私たちを取り巻く環境は大きく、そして目まぐるしく変化しています。とりわけ、デジタル化、技術革新が日進月歩で急速に進み、教育や労働のあり方が変容していく時代において、働く人々が主体的に成長できる学びの場と、人と人のつながりを育む文化活動の重要性は一層高まっています。

教育事業では、次代の労働運動を担う人財の育成を目的とした「Rengoアカデミー・マスターコース」の修了生が、累計508名を数えました。より多くの方に参加いただけるよう運営を一部見直してスタートした第25回では、23名の受講生が共に学び、課題への考察を深めています。また、昨年に開講10周年を迎えた連合大学院（法政大学大学院連帯社会インスティテュート）では、第10期生8名、第11期生14名が、切磋琢磨しています。各地の大学で開講中の「連合寄付講座」は、現在、教育文化協会と地方連合会あわせて29の大学・大学院で開設しており、その広がりを見せています。引き続き、広く「働くこと」を学び、多くの学生の未来と地域社会を照らす一助になればと思います。

文化事業についても、昨年に「幸せさがし文化展」は第14回を、「私の提言」は第22回を迎え、引き続き、公益社団法人としての目的を踏まえた事業を展開していきます。今後も、会員組織・連合組合員のみならず、幅広い方からご応募・ご提言をいただくため、より発信力を高めてまいります。

昨年に設立30周年を迎えたILECは、31年目の歩みをスタートさせています。1995年の設立時に掲げられた、「労働者教育及び教育文化活動の振興を通じて、広く勤労者の生涯にわたる学習、文化活動を支援するとともに、社会構造の変化や時代の要請に応えられる人材の育成を図り、もって、勤労者の生活及び文化教養の向上と自主的・民主的な労働運動の発展に寄与する」という先人らの願いを基礎に、新たな時代の中、その役割をなお一層発揮していけるよう、本年も、公益社団法人としての務めを果たしてまいります。

皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# Rengoアカデミー・第25回マスターコースはじまる

2025年11月16日(日)、Rengoアカデミー・第25回マスターコース(校長:芳野友子連合会長)が始まりました。

今回から、マスターコースの日程を、前・後期合宿を従来の5泊6日から短縮して3泊4日とし、中間の12月と4月に、宿泊なしで2日間ずつの通学研修を設定しました。これは、合宿期間を短縮し、宿泊のない通学研修を実施することで、参加しやすくすることをねらいとしており、今回は昨年よりも5名多い23名が参加、うち8名が女性と、女性参加率も過去最高となりました(34.7%)。

その前期合宿が、11月16日(日)~19日(水)、神奈川県「メロンディアあざみ野」にて、1回目の通学研修が12月11日(木)~12日(金)、東京の「連合会館」にて開催されました。

11月16日の開講式では、相原康伸理事長が主催者挨拶として、「このアカデミーで獲得した知識や経験は、背骨を通すように自分を再構築し、貴重な財産となります。仲間と議論を重ね、知見を高めることで、良い社会を作っていくてくれることを期待しています」と述べました。

続いて、神保政史連合事務局長より、「歴史あるこのコースに参加される皆様には、次世代を担うリーダーとして活躍してくれることを期待しています」とメッセージが送られました。そして、中村圭介教務委員長(東京大学名誉教授)より受講生へ激励の言葉をいただき、最後に、受講生を代表して、情報労連(KDDI労働組合)の浅野祥さんが決意表明を行いました。その直後から、受講生は早速、幅広い分野・領域の知識の習得に努め(下表①②)、活発な意見交換を行いました。

また、受講生は修了までの1年間、5つのゼミナール(下表③)に分かれ、マスターコースの集大成となる「修了論文」の完成に向けて、担当教員、ゼミの仲間と議論を交わします。そして、4月20日(月)~21日(火)の通学研修を経て、5月17日(日)~20日(水)の後期合宿で各担当教員、受講生の前で論文の構想を発表します。その後、完成した論文を7月に提出するスケジュールです。

本マスターコースは、9月下旬に開催予定の修了式まで約1年間のプログラムとなっています。派遣いただいている各組織の皆様におかれましては、受講生への温かいご支援をお願いいたします。



2025年11月16日(日)に開催された開講式の様子

## ①前期合宿の内容<会場:メロンディアあざみ野>

講義日	科目	講師氏名
11/16 (日)	論文のまとめ方	中村 圭介 (Rengoアカデミー教務委員長)
	連合の役割・行動I	神保 政史 (連合事務局長)
11/17 (月)	アサーティブ・トレーニング	谷澤久美子 (アサーティブ・ジャパン認定講師)
	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 (中央大学教授)
11/18 (火)	労使関係の課題	中村 圭介 (Rengoアカデミー教務委員長)
	連合組織強化と地域の課題	中山 耕介 (連合組織局長)
		松永 茂樹 (連合組織拡大局中央オルガナイザー)
11/19 (水)	日本の財政と社会政策の課題	中村 圭介 (Rengoアカデミー教務委員長)
		佐藤 滋 (東北学院大学教授)

## ②通学研修(12月)<会場:連合会館>

12/11 (木)	労働法の基礎	長谷川 聡 (専修大学教授)
	仕事と賃金	西村 純 (中央大学准教授)
12/12 (金)	社会保障のとらえ方	菅沼 隆 (立教大学教授)
	歴史からみた労働組合の役割	仁田 道夫 (東京大学名誉教授)

## ③ゼミナールの内容

担当教員・テーマ
<b>禹ゼミ</b> 禹 宗杭 (法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授) 「労働組合の機能と役割をみつめなおす」
<b>梅崎ゼミ</b> 梅崎 修 (法政大学キャリアデザイン学部教授) 「キャリアと労使関係」
<b>木本ゼミ</b> 木本喜美子 (一橋大学名誉教授) 「少子高齢社会のなかの人間と労働組合」
<b>橋元ゼミ</b> 橋元 秀一 (國學院大學名誉教授) 「企業・職場と労働組合」
<b>長谷川ゼミ</b> 長谷川 聡 (専修大学法学部教授) 「労働法と労働組合」

ILEC30周年

## 「公益社団法人教育文化協会 設立30周年 感謝の集い」を開催

教育文化協会は、2025年11月27日に、東京ガーデンパレスにおいて、「公益社団法人教育文化協会 設立30周年 感謝の集い」を開催しました。1995年12月の設立から30周年となる本会には、会員組織をはじめ、構成組織、地方連合会に加え、この間の長きにわたる教育・文化活動に関わっていただいた多くの講師、修了生等、合計172名にお越しいただきました。



▲「感謝の集い」の様子

冒頭、相原康伸理事長からは、「教育文化協会は、当時、21世紀を目前に控えた社会変化の中で、生産性や効率性といった経済的規範だけではなく、文化を愛する心、教育による次世代育成の重要性を掲げ、強固な組織として歩む決意のもと設立された。



▲相原理事長

本会は、過去の歩みを称えるだけでなく、次の時代への発射台でもある。皆様への深い感謝とともに、未来へ向けた新たな挑戦を誓いたい」との主催者挨拶がありました。

神保政史連合事務局長からは来賓祝辞、岡部謙治教育文化協会元理事長からは乾杯挨拶をそれぞれいただき、会の各所で、これまでの歴史を振り返る「30周年のあゆみ」や「事業紹介」等の動画を流し、最後は永井浩専務理事の閉会挨拶で盛会裏に閉会しました。

31年目の歩みをはじめた教育文化協会は、これからも働く人とその家族の労働教育・文化活動を力強く支援してまいります。引き続きのご協力をよろしく願いいたします。

設立30周年特設サイトでは、「30周年のあゆみ」や記念動画等を公開しています。リニューアルしたホームページとあわせて、ぜひご覧ください。

30周年  
コンテンツ  
30th CONTENTS

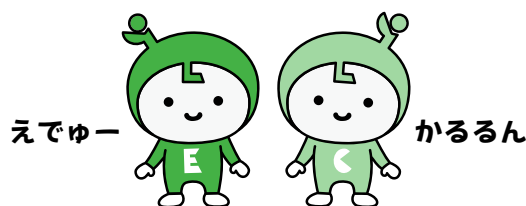


### ILEC公式キャラクター

#### 「えでゅー」&「かるるん」がデビュー！

設立30周年に合わせ、ILECの認知度向上を目的に公式キャラクターを作成し、「感謝の集い」で初お披露目を行いました。

「教育＝education」と「文化＝culture」が名前の由来である「えでゅー」と「かるるん」には、これから、ILECの様々な活動の場で活躍してもらいたいと思います！





## 初級・中級合わせてのべ942名が合格！ ～ワークルール検定2025・秋～

働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度「ワークルール検定」が、2025年11月28～29日に開催されました。今回より、自宅でも職場でも場所を問わず受けられるIBT方式での実施となり、初級は1,168名が受検して732名が、中級は同319名中、210名が見事に合格しました。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに同検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。次回同検定は、2026年6月12日（金）～13（土）に初級と中級を実施する予定です。

### 連帯社会研究交流センター「連帯社会」連続講座のご案内

連合大学院を運営する連帯研究交流センターでは、引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を実施しています。オンライン（Zoom）開催のため全国どこからでもご参加可能です。みなさまのご参加をお待ちしています。（参加無料）

お申し込みは  
こちらから



2026年 2月21日	大規模災害時における緊急対応の光と影 講師：秋富 慎司（金沢医科大学 救急医学講座 教授）
----------------	--

### 役員交代のお知らせ

2025年12月5日（金）の臨時総会（書面決議）において役員を選任、ならびに12月19日（金）の第59回理事会（書面決議）において業務執行理事（副理事長）の選定を行いました。今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新任役員		退任役員	
副理事長	神保 政史	前副理事長	清水 秀行
理事	津崎 暁洋	前理事	伊藤 敏行
	村上 陽子		平川 則男
	佐保 昌一		南部美智代
監事	久保 啓子	前監事	湯本 健一

退任された皆様には在任中ひとかたならぬご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。午年生まれの自分は年男！ですが、2026年は「丙午（ひのえうま）」。少しネガティブな迷信もありましたが、エネルギー溢れる飛躍の年になるとも言われていますので、ILEC31年目の歩みを力強く進めていく一助になればと思います。（はまちゃん）